

四街道市・物井の里で自然体験…山野草、上溝桜、筍掘り・養蜂エトセトラ

ガイドの湯上昇さん等会員7名が参加。栗山（地主）さん他、地元のご参加・ご協力数名。
令和3年（2021）4月10日（土）

千葉の物井はJR総武線快速・成田空港駅行で東京駅から約55分。（成田空港駅迄は95分）
東京駅（40分）→千葉駅（10分）→四街道駅（5分）→物井駅。

物井駅前には商店街も住宅街も見えない。数分歩けば、田畑の向こうに、たくさんの樹種が混合、桃や遅咲き八重桜など、濃淡の新緑の山麓の風景に、気分が高揚する。

起業家？湯上さん達のベリー畑を見学。ブルーベリーが成長を始めた。ブラックベリー、イエローベリーも加わり、畑一面にベリーたちが実る日々が待たれます。急がず、楽しみに。

道端の野草たち

竹林の主、栗山さん宅は丘の上、道沿いに野草を見学しつつ、お昼にいただく山草も採る。笠をかぶり輪になって踊るオドリコソウなど、一帯に自生する花々を楽しむ。

○オドリコソウ ○ヒメオドリコソウ（外来種） ○トウダイグサ（燈台草） 他
○ウラシマソウ（浦島草、暗紫色、釣り糸を投ずる浦島さん。竹林などの陰にひっそりと）
△ウド（独活） △ノビル（野蒜） △アケビ（木道） △カンゾウ（萱草）他、山菜類

養蜂見学と筍（竹の子）掘り

栗山さん宅の山林に、この季節に設置した、蜂巣箱の中を見物した。そして掬い取った、新鮮な蜂蜜を味見した。“養蜂屋さん”がネットをかぶったのは巣箱を開け、蜂巣を取り出す瞬間のみ。周りを（セイヨウ）ミツバチさんがぶんぶん飛んでいたが、静かに見守ればハチさんに刺されない。瓶入り輸入蜂蜜等と比べ、香り、新鮮、味、すべて比類なし。森の木々に混じる竹林。倒木や倒れそうな木もあり、筍掘りは、安全第一。採取後は、その土を埋め戻すべし。山の手入れは協力して維持することが肝心だ。

“ウラシマソウ”が孤独に、地味に咲いている。頭が地上5cm現れていたとして、下膨れの竹の子を、さらに20cm以上掘り取る体力がないので、われ見学を決め込まざるを得ず。採った筍はその場で、マキ釜で、焼き上げいただく。道すがら集めた山菜サラダも添えて。湯通し、ソースづくりなどキャンプの技は島藤、檜山組にお任せ。ふんだんにある竹を活用、花瓶や鉢製作は湯上さんの得意技の一つ。

追記：ウワミズザクラ（＝上溝桜）を私は初見。桜はほぼ散り、ウワミズザクラが今花盛り。綿状に（ソーセージみたいに）小さな桜花が集合している。やがて実る（小さな）実は赤、橙、黄と混じり合い美しい。そして美味で薬にも。

（ 岩渕徹郎 記 ）